

2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [追手門学院大手前中・高等学校] 担当教諭名 [吉田 恵実子] (英会話教室 10名)
 相手国・地域 [エストニア]
 海外学校名 [Tamsalu Gymnasium] 担当教諭名 [Reena Curphey]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	特別教室 (英会話)	英語	32

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	The world all living things can live
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	すべての生き物が生きやすい世界を作るために私たち人類は努力していかなければならない



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
エストニアの生徒と交流を重ねることで英語を使うことの難しさと面白さを感じてくれたようだった。また、それぞれの国の文化や直面している環境問題について学び、エストニアという国が IT 社会であるということを知ることができた。	日本という国について英語で説明することの難しさ、伝えることの難しさは Skype を行った際、痛感したようだった。日本についてもっと知ることはもちろん、英語で発話するための準備をもっとすべきであったと思った。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
エストニアという国について全く知らなかったため、エストニアが非常に進んだ国であるということに非常に驚き、憧れの気持ちを抱いたようだった。	教員も生徒と同様、エストニアという国について初めて知ることができ、教育レベルの高さや、生徒のレベルの高さに非常に驚き、尊敬の念を抱いた。相手を知るということが国際理解に繋がっていくのだと改めて実感した。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	7月	フォーラム上で自己紹介。一人一人が英語でメッセージと写真を用意した。	慣れている生徒もいれば、初めての取り組みで戸惑う生徒もいたが、おおむね一生懸命取り組んでいた。	特別教室 (英会話)
共有 テーマ学習	9月	エストニアからのメッセージを受けて、SDGsと日本の環境問題について学び、発表を行った。	SDGsについて知識を深め、日本とエストニアに共通する問題は何か、考えることができた。	特別教室 (英会話)
融合 メッセージ作成	10月	SDGsの Goal14 に着目し、学習を進めた。その中で、Goal15についても併せて考え、Skype で共有をし、「すべての生き物が生きやすい世界」をテーマとした。	日本とエストニアの海と森における絶滅危惧種や何が海や森を汚しているのかについて知ることができた。一方で、調べたことを伝えることの難しさを実感していた。	特別教室 (英会話)
創造 壁画制作	11月 12月	テーマをもとに模造紙に下書きをし、エストニアと Skype で話し合った。その後、訂正を加え、壁画作成に取り組んだ。	テーマをどのように絵で表現できるか、話し合いを重ね、それぞれが担当を決めて英会話教室以外の生徒も巻き込んで壁画作成に取り組んでいた。	特別教室 (英会話)
評価 振り返り 自己評価	未実施	新型コロナウイルスによる特別休校のため、実施できていない。	同左	—

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	自分たちで iPad やタブレット端末を活用し、調べた内容をパワーポイントにまとめてくれていた。
異文化を理解する力	4	エストニアから送られてきたパワーポイントやメッセージを iPad やタブレット端末を活用し、積極的に理解に努めていた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	上記のように、ICT 機器を活用し、情報を収集し、まとめていた。発信に関しては、英語力にまだまだ課題があった。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	3	英文の作成においても Skype での発話においても、まだまだ課題が見られたが、精一杯取り組もうという姿勢は見られた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	壁画を描くにあたってテーマをどのように表現するか、それぞれ描くパートの意味を考え、取り組んでいた。
主体的に考え行動する力	4	エストニアからのメッセージが届いているかなど、積極的に自分から教員に働きかけてくれた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	3	数名で協力して行うことはできたが、全員で協力することは難しかった。エストニアの生徒とはなかなか意思疎通が難しかった。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	ただ絵を描くのではなく、意味を考えて、壁画を作成していた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	—	未実施